教科名	情報表現	科目名	課題研究	単位数	２
対象学年	２年情報選択者		履修形態	必修	
科目の目標	・高度情報化社会へ向けて、情報の質と量の多様化が進む中、正しいものもあれば、価値のないもある。それらの中から意思決定に必要な情報を、短時間で効率よく、的確につかめることがでよう目指す。 ・国際化の時代において、常に新しい環境で新しい人々との関係を作っていくうえで、お互いに相手のことをよく知り、よく理解し合うことが必要である。そのために、自分のことを相手に短時間に印象深く知ってもらえるよう目指す。				
学習内容の概要	・プレゼンテーションの基礎を学ぶ ・パワーポイントの使い方を学ぶ。				
評価の観点 評価の方法	（1）関心・意欲・態度　（授業態度・ノート提出・出席状況） （2）見方や考え方　（課題作品） （3）表現･処理　（発表） （4）知識･理解　（定期末考査）				
学習方法	・教科書の解説 ・プレゼンテーションソフト（パワーポイント）の活用 ・発表技法				
教科書･教材	３０時間でマスター　　パワーポイント				
授業形態	教室授業と実習授業				

年間授業計画

学期	月	項目	学習内容	時間	学習ポイント
一学期	4 5 6	１．プレゼンテーションの概要	１．プレゼンテーションとは何か ２．プレゼンテーションはなぜ必要か。 ３．プレゼンテーションと日常会話 ４．プレゼンテーションにはどのような場面があるか ５．プレゼンテーションの形式にはどのようなものがあるか ６．プレゼンテーションの全体の流れはどのようなものか ７．プレゼンテーション本番の進行と話の構成 ８．プレゼンテーションを行うには何を準備しなければならないか	２０	・プレゼンテーションという言葉解する。目的・準備・段階を学ぶ。 ・必要とされる、理由・期待されのを理解する。 ・プレゼンテーションと日常会話いを理解する。 ・さまざまな場面でのプレゼンテーションを知る。 ・プレゼンテーションのさまざまな形式を知り、会場のサイズ・聞き手の人数などによっても左右されることを理解する。 ・プレゼンテーションの準備から本番、そして評価までの全体の流れを理解する・ ・与えられた持ち時間の中で、どのように進行していくのかを理解する。 ・与えられた条件の中で、効果的にわかりやすく伝え、聞き手の意思決定を促すことができるか。

	7	２．プレゼンテーションのテクニック	１．発表技法の基礎 ２．話す際の態度 ３．服装	１０	・話し方の基本・声の大きさと話し ・表現の伝え方や工夫・ボディーゲージ・アイコンタクト等を理解する。 ・聞き手に対して好感をもってもらえる服装を学ぶ。
２学期	9 10 11 12	３．プレゼンテーション資料を作る	１．パワーポイントの基礎 ２．パワーポイントの応用	３０ １０	・パワーポイントを資料を作成するための方法を学ぶ ・プレゼンテーションの目的に合った作成方法を理解する ・新規にプレゼンテーション資料を作成する。 ・スライドのレイアウト ・テキスト入力・保存 ・編集・スライドの並べ替え ・スライド表示 ・自己紹介のプレゼンテーション資料を作成
３学期	1 2 3	４．発表	１．自己紹介	8	・リハーサル ・パワーポイントで作成した、自己紹介の資料を用い、発表をする ・フィードバック